

緑化だより No.214

令和 7年4月号



サクラ‘御衣黄’

- 季節の花(李(スモモ))
- 水生昆虫の話
(ノギカワゲラ)
- 小さな世界こけ(胞子体の違い I)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

4月 休園日はありません

ryokka 研学の本

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

李(スモモ)

「わが園の 李(すもも)の花か 庭に降る

はだれのいまだ 残りたるかも」

作者 大伴家持 万葉集 卷19-4140

これを訳しますと

(早春の我が家の庭園にスモモの白い花が咲いている。庭の土の上に白いものが見える。あれはスモモの花が散ったのであろうか、それとも庭の薄雪が残ったのであろうか)

「はだれ」は「はだれゆき」の略で「^{まだら}斑な雪」という意味です。

天平勝宝2年(750年)3月1日の暮れ、家持は奈良の佐保の邸宅に植えられていた春を告げるスモモの花を愛でて詠っています。

当時の貴族の庭園には珍しい、外来の植物を好んで植栽していました。

スモモ(李、酢桃)は バラ科サクラ属の落葉小高木です。

中国原産で日本には奈良時代に薬用として渡来しました。

花は4月頃葉の出る前、桜のような白色の5弁の花をつけます。

果実は6~9月に直径4cmの丸い実で、桃より一回り小さく、熟すとまっ赤になります。果実の味は桃よりも酸っぱいことから「スモモ」と名付けられました。

花は観賞用として、果実、種子、根は生薬として利用されます。

スモモの日本一の生産は山梨県ですが、広島県呉市上蒲刈では90年前からスモモの生産が盛んで、8月上旬には「蒲刈スモモ」として出荷量は県内の半分を占めています。

また、果実の皮の部分にはポリフェノールが含まれ、ジャム製品として好まれています。

ペクチンなどの栄養素も含まれて、健康食品として利用されています。(上村)



スモモの花

水生昆虫の話

ノギカワゲラ

穏やかな春が訪れました。枯草の間から、初々しい緑色の新芽が伸びてきて、川の周りでは、小さな虫たちがふわふわと飛び始めています。

春の雪解けの時期に、山地溪流の源流域でとても可愛いカワゲラに出会ったことがあります。とても小さなカワゲラで、写真のおりコロンとしたフォルムにまるでゆるキャラのような愛らしいベビーフェイス! とってもかわいいと思いませんか? 私が今まで出会ったカワゲラの中では、ダンツナンバーワンの可愛い系カワゲラです。

このカワゲラは、ヒロムネカワゲラ科のノギカワゲラ属ノギカワゲラといひます。

きれいな水の指標生物でもあるカワゲラですが、そんなカワゲラの種類の中でも、特にきれい

でとても冷たい水が、苔むした岩の間を小さな滝のように流れ落ち、水しぶきがあがっているような場所の石の上や隙間にこのノギカワゲラは生息しています。

体長が約 10mm と小さなカワゲラですが、体がずんぐりと丸っこいのでなんだか強そうな感じにも見えます。でも実は肉食系ではなく、川の中の腐敗した落ち葉などの有機物を食べている草食系ようです。

とても小さいのでなかなか見つけにくいのですが、川虫網を下流側に構えておいて、冷たい水の中の石の表面をこすりながら探していきます。ちなみに、アミカ類も同じような場所で見つけることができます。

そうやって探していると同じノギカワゲラでも、ちょっと見た目が違うミヤマノギカワゲラが見つかることもあります。こちらはまたの機会にご紹介したいと思います。

これから初夏にかけて、この可愛い幼虫たちは羽化して成虫になります。(西村)



ノギカワゲラの幼虫

小さな世界 こけ

胞子体の違い I

セン類の胞子体

これまでセン類、タイ類、ツノゴケ類約 90 種類を紹介しましたが、それぞれの胞子体の違いを見てみましょう。

セン類の胞子体には次のような特徴があります。

蒴柄は、固くて丈夫。白色のほか褐色や赤褐色のものがあります。

蒴のかたちは①球形(タマゴケなど)、②柄の上に壺状につく(コツリガネゴケなど)、

③頸部が細長く伸びる(ヘチマゴケなど)、④細長くまっすぐ立つ(タチゴケなど)、

⑤柄が短く葉に包まれる(イクビゴケなど) など様々なものがあります。



タマゴケ



コツリガネゴケ



ヘチマゴケ



タチゴケ



イクビゴケ

胞子を作る順にも違いがあり、セン類は胞子体を伸ばし、先端の蒴の中で胞子を成熟させ、蒴は成熟すると、帽子がはずれ、蓋が取れて胞子がこぼれます。

蒴にはタイ類の様な弾糸はありません。

蒴の口縁には蒴歯があり、種類によって三角形、細長い披針形、舌状の形をしています。蒴歯は乾湿運動により開閉し、胞子を散布します。

役目を終えても蒴はそのまま残ります。(山根)



役目を終えたタマゴケの蒴

研修会のご案内

- | | |
|---|--|
| ○4月6日(日)『自由工作塾』
木の実や枝を使って自由に工作しよう
※自由参加(随時受付)、1作品100円 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○4月9日(水)『早春の写真教室』
散策路を歩きながら植物の撮影について学びます
※要予約(先着15名)、無料、カメラ持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:二科会会員
宗岡 泰昭 |
| ○4月12日(土)『山菜講座』
室内での講義。試食はありません
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:森林インストラクター
長井 稔 |
| ○4月13日(日)『自由工作塾』
木の実や枝を使って自由に工作しよう
※自由参加(随時受付)、1作品100円 | 10:00～15:00 レストハウス前
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○4月13日(日)『ネイチャーゲーム』
自然の中での遊びを体験します
※自由参加(随時受付)、無料 | 10:00～15:00 レストハウス前
講師:広島市
シェアリングネイチャーの会 |
| ○4月13日(日)『4月の植物観察会』
散策しながら植物を観察します
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 レストハウス前 集合
講師:森林インストラクター
野田 圭一 |
| ○4月20日(日)『立石山トレッキング』
距離往復2.5km、やや健脚向き
※要予約(先着15名)、無料、軽食・雨具持参、雨天中止 | 10:00～12:30 レストハウス前 集合
講師:緑化センター職員 |
| ○4月29日(火・祝)『自由工作塾』
木の実や枝を使って自由に工作しよう
※自由参加(随時受付)、1作品100円 | 10:00～15:00 イベント会場
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○4月29日(火・祝)『ネイチャーゲーム』
自然の中での遊びを体験します
※自由参加(随時受付)、無料 | 10:00～15:00 イベント会場
講師:広島市
シェアリングネイチャーの会 |
| ○4月29日(月・祝)『たね団子を作ろう』
草花のたね団子作りに挑戦しよう
※現地受付(各先着20名)、材料費200円 | 1回目 11:30～ イベント会場
2回目 14:00～ 同上
講師:みずえ緑地 |

♪☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

【車両通行規制のお知らせ】

～4月29日(火・祝)の土、日、祝日
多目的広場～第5駐車場

- ・ひろしま遊学の森 スタンプラリー 2025 春 ～5月18日(日)
緑化センターと森林公園の両園でスタンプを集めて景品ゲット!
- ・さくら祭り 2025 ～4月20日(日)
さくらクイズに参加して景品ゲット
期間中、早咲きから遅咲きのサクラ約60種類が楽しめます
緑化センターのサクラの写真展示
- ・さくら祭りお楽しみイベント 4月13日(日)10:00～15:00
～八重ざくらを楽しもう～
場所:レストハウス前
- ・第29回みどりの集い 4月29日(火・祝)10:00～15:00
場所:多目的広場、(雨天の場合 詳細はH.P.などでご確認ください)

◎展示会

場所:レストハウス(ボード展示)

・緑化センターのさくら写真展

～4月20日(日)

